

「ひきこもり」を理解するための

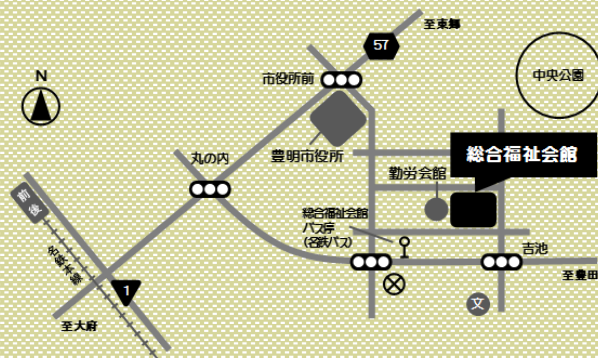
支援者向け

研修会

in 社協

「ひきこもり」について、みなさんはどのようなイメージをお持ちですか？
もし、身近にひきこもりの人やその家族がいたら、どのように関われば良いのか、悩むのではないのでしょうか。ひきこもりの状態像は人それぞれですが、その原因を探ることよりも、今彼らが何を感じているのかを知ることが、寄り添う姿勢の第一歩です。これから stand by 活動として、地域住民にひきこもりの理解を広めていくために、まずは支援者のみなさまで、できることを考えましょう。

令和2年
2月20日(木)
17:30～18:30



【講師】 愛知教育大学 教育実践研究科 准教授 川北 稔 氏

豊明市在住。ひきこもり相談窓口はばたき開設当初から、窓口の発展に寄与して頂いています。社会学の視点から「生きづらさを抱える若者や家族の支援現場」を訪問調査し、2000年ごろから、名古屋市内で始まった若者支援のNPOや自助グループの活動に参加。2008年からは子どもの貧困や不登校の実例について、小中学校教員がディスカッションする授業を担当。2016年から全国KHJひきこもり家族会連合会による「長期高年齢化したひきこもり問題」の調査の取りまとめを担当されました。

【参加費】 無料 【定員】 50名程度(予約制)

【場所】 総合福祉会館 3階 大会議室
(豊明市新田町吉池18-3 0562-93-5051)

【対象者】 豊明市内のひきこもりに関心のある支援者等

stand by(スタンドバイ)活動について

ひきこもりという状態について正しい理解を啓発することで、偏見をなくし、温かく見守れる地域づくりを目指す活動です。
stand byの意味…「そばにいる」「待機する」「～を支持する」「(約束など)を守る」

【問合せ・申込先】 豊明市ひきこもり相談窓口 はばたき

電話:0562-85-3951 FAX:0562-93-3880

住所:豊明市新田町子持松1-1 豊明市役所社会福祉課内

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分

